

市民公開セミナー

孤立とセルフ・ネグレクト

— 身近な人のSOSに気づくには —

ごく普通に生活していた人がささいなきっかけで、セルフ・ネグレクトと呼ばれる状態に陥ってしまうことが指摘されている。健康状態や生活環境が悪化しているのに、それを改善しようとする気力を失い、周囲に助けを求めないために、周囲から孤立してしまう。年齢に関係なく陥るとされるセルフ・ネグレクトは、孤立死やゴミ屋敷の原因とも言われている。セルフ・ネグレクトにつながる変化を見逃さず、未然に防ぐ方法について考える。

日時 2019年7月28日(日) 14:45-15:45 (開場14:30)

会場 仙台国際センター 会議棟 2階 橋

参加方法 **参加費無料** / 当日受付 (先着450名)

講師

岸 恵美子氏

(東邦大学 看護学部)



日本赤十字看護大学大学院博士後期課程修了。看護学博士。東京都板橋区、北区で16年間保健師として勤務した後、自治医科大学講師、日本赤十字看護大学准教授、帝京大学教授を経て、2015年より東邦大学看護学部／看護学研究科教授。

高齢者虐待、セルフ・ネグレクト、孤立死を主に研究。一般社団法人 全国保健師教育機関協議会会長。日本高齢者虐待防止学会理事、日本公衆衛生看護学会理事。千代田区高齢者虐待防止推進委員会委員長、足立区環

境保全審議会副委員長、世田谷区生活環境保全審査会委員長、横浜市建築物等における不良な生活環境の解消及び発生の防止に関する審議会副会長を務める。

「クローズアップ現代+」(「あなたの隣もごみマンション!? 現役世代に広がる“孤立”」(2018年5月)、「視点・論点」(「セルフ・ネグレクト」支援のあり方は」(2017年12月)等テレビ出演

著書は『ルポ ゴミ屋敷に棲む人々 孤立死を呼ぶ「セルフ・ネグレクト」の実態』(幻冬舎新書)、『セルフ・ネグレクトの人への支援 ゴミ屋敷・サービス拒否・孤立事例への対応と予防』(中央法規)、『実践から学ぶ高齢者虐待の対応と予防』(日本看護協会出版会) 他。

司会

山野 英伯氏

(東北福祉大学 総合福祉学部)

